

第 19 回（2024 年度）協会活動有功賞受賞者

協会活動有功賞は、当協会の運営、事業等の活動で顕著な貢献のあった者を表彰することにより、会員の協会活動に対する参加意欲の増大を促すとともに、協会活動の更なる発展を図ることを目的として創設されたものです。ここに受賞者の推薦理由を紹介します。

さとう やすし
佐藤 泰史 氏（岡山理科大学）

協会誌編集委員会の特集・連載企画による情報発信活動での貢献



佐藤泰史氏は、協会誌『セラミックス』の編集委員会において4年間に渡り精力的に特集企画と連載記事編集に取り組み、研究情報の発信や活動の活性化において成果を上げている。同氏は2021年に編集委員に就任すると同時に広報委員会への派遣委員も兼任し、「セラミックス博物館」の記事更新を目的に「セラミックスアーカイブズ」の連載を再開させた。主査として過去の連載記事の改訂依頼、新規記事のテーマ設定と執筆者への打診、記事掲載を進め、セラミックスの一般向け啓蒙活動に貢献している。また、他の編集委員と協力し、特集記事の企画と掲載を積極的に進め、特集「セラミックス産業を科学技術で支える企業たち」では、セラミックス産業に従事する企業に焦点をあて、製品・技術の紹介や学生会員向けのメッセージを含めた記事の掲載を実現した。また、特集「これだけは知ってほしいセラミックスの基礎」では、セラミックスの合成から特性評価に関する記事を各分野の専門家に依頼し、2号連載を実現した。

以上の活動により、佐藤氏は協会誌編集委員会等を通じた協会の活動活性化に大きく貢献した。よって、同氏は「協会活動有功賞」に値するものとしてここに推薦する。

略 歴 1996年 工学院大学大学院 工学研究科 修士課程修了。2003年 東京工業大学大学院 総合理工学研究科 博士課程修了。青山学院大学 理工学部 COE 研究員、助手、助教を経て、2010年 高知工科大学 総合研究所 助教、2011年 東北大学 多元物質科学研究所 准教授（研究特任）。2014年より 岡山理科大学 理学部 准教授、2024年より同 教授。

協会活動有功賞選考委員会 委員長：須山 章子、委員：鵜沼 英郎、春日 敏宏、角野 広平、亀島 欣一、清水 陽一、徐 超男、宮山 勝